

第4回 松江らしい景観づくり委員会
会 議 録

1. 日 時 令和7年1月30日(木) 9:00~10:30
2. 場 所 松江市役所 西棟5階 防災センター
3. 出席者(敬称略、順不同)
 - (1) 委員(7名中、出席者5名)
千代章一郎委員長、小草牧子委員、藤間寛委員、日野由紀子委員、
日之蔵里佳委員、福田満信委員、古津弘也委員
 - (2) 事務局
石本まちづくり部長、佐伯建築審査課長、陶山都市政策課長、
飯塚松江城・史料調査課長、藤井景観指導係長、中司計画係長、
木下松江城係長、岸本主幹、木村主事
4. 議 題「視点場の設定について」
 - (1) 事務局説明
 - (2) 議論
5. 傍聴者数 2名(報道関係者除く)
6. 議事要旨【すべて公開】
 - ①開会
 - ②あいさつ(石本まちづくり部長、千代委員長)
 - ③委員成立報告
 - ・委員7名中7名出席
 - ・松江市景観審議会専門委員会設置要綱第5条第2項の規定より、委員の過半数の出席により委員会が成立していることの確認
 - ④会議録署名人確認
 - ・千代委員長より日之蔵委員指名、委員了承
 - ⑤議案

(1)事務局説明

資料1 これまでの振り返り・スケジュール案・今回ご議論いただくこと

資料2 他市事例

資料3 城と視点場の関係図について

資料4 松江市の現状について

追加資料 床几山について

(2)議論

千代委員長

○事務局が示した5か所（明々庵、普門院、千手院、松江大橋、月照寺）については、お堀や川に近かったり、城郭の歴史と藩主の歴史に関わるような場所であったり、市民がどなたでも知っている、あるいは愛されている場所であると思うので、候補地としても良いのではないかと。

○床几山については松江城から2.5kmほど離れているが、松江城を選定した場所がはっきりと分かっており、このような事例は実はあまり多くなく、非常な貴重な例であるので（視点場の候補に）入れるべきではないかと思う。

○必ずしも距離で選ぶのではなく、重要な地点という方向性で考えていただければと思う。

○⑪は遊覧船の船着き場であるが、普通に生活していたらまず行かない。

○川やお堀などで、もう少し（候補地に）入れられるところが見つかれば、入れても良いのではないかと考えている。

藤間委員

○松江を紹介する観光パンフレットや映像などで松江城が取り上げられている例がある。

○例えば北堀橋あたりからの写真などもあり、今回の資料であれば、少し距離は遠いが⑤のあたり。

○⑩…國暉酒造と松江城を一緒に写している写真も見かける。

○⑱…道路が拡張され、お城が良く見える状況になっているので候補にあがるのではないかと。

⇒（委員長）⑱から見ると全体がぱっと見える。また、お堀という物語として候補地とする理由がわかりやすい。

小草委員

○5か所（明々庵、普門院、千手院、松江大橋、月照寺）については賛成。元々

松江城を意識して計画されたところが多いという背景を見ても妥当かなと。

○床几山についても、松江城の築城に関わるような重要な場所であるということであれば候補地とした方が良いと思う。

○⑫…山陰道の高速から降りてきて、県外の方がまっすぐ松江城を目指して来られると、このあたりでお城を視認できる印象的な場所かなと思う。ここからお城の前あたりは民間のエリアではないので、高い建物が建つことは無いかなと思うが、ここの景観は個人的には残したいかなと思う。

⇒（委員長）お堀の橋端にもなっているので候補地として良いと思う。

古津委員

○5か所については賛成。観光地として、観光客の方がまず行かれるような場所からお城が綺麗に見えたらいいかなと思う。

○視点場の数を言えば、できるだけお城から東西南北全体から選んで8か所ぐらいあっても良いのかなと。

○先ほどあがっていた⑩あたりについても、南東あたりで方位的にも良いと思う。大手前通りを通ってお城が綺麗に見えるとやっぱり気持ちがいい。

○西や北で良いところがあるといいかなと思う。

⇒（委員長）⑪については、地ビール館あたりから見ると意味があるのかなと思うが、もうちょっと前から見えるといいかな。現地視察で見ても良いかもしれない。

○そうですね。地ビール館あたりの観光客の方が訪れるような場所から見える良いと思います。

日野委員

○5か所に関して賛成。また、先ほどお話に出た⑪や⑫も良いと思う。

○大橋川の南側はこれから開発していく部分もある。⑳、㉑あたりから見えるのも重要かなと思っている。観光客の方が駅から歩いて来られるとすれば、東本町の方まで広がっていくような導線というのを考えておられるので、それに見合った部分で考えるとすると、先ほどの大手前通りや大橋川はとても重要なものになると思う。

⇒（委員長）少し問題だと思ったのは、（松江城が）見える地点がいくつかあるが、それらが上手く繋がらない。例えば大橋川のところ、松江城が

見えたと思ったらすぐにまた見えなくなる。言い出したらキリがないが、選んだ地点同士が上手く繋がるようなサイン計画とか、眺望の問題ではないが、考えてほしい。

福田委員

- 個人的な意見としては、以前から申し上げている通り、メリハリをつけて制約や規制があるべきかなと思っている。その意味では、今5つぐらい（候補が）あがっていると思うが、それ以上に制約・規制が増えない方が良いと思う。
- 土地の有効利用と景観を守るということのバランスを考えて、視点場は重要な地点に絞って、他のところは土地の有効利用が図りやすいという形の方へ考えてもらいたいなと思っている。

⇒（委員長）例えば、⑫を選んだ場合は、それほど大きな影響は出ないと思う。それから裁判所のところも若干規制がかかっていますよね。

⇒（事務局）裁判所の前のところには地区計画がかかっておりまして、高さが12mの規制があります。

⇒（委員長）福田委員のご意見は非常によくわかるが、それと視点場を増やすことは必ずしも一致しない部分もあるかなと思う。歴史的な都市でもあるので、ここはやっぱり守ってほしいというような場所があっても良いのかなと。もちろん開発との関係もあるので、そのあたりも合わせて現地で色々見たりとか、もしくは今回ある程度候補が決まったら、その中でこの辺りはどれぐらいの高さが建てられるか事前に事務局の方と検討し、整理をしておくべきかなと思います。

日之蔵委員

- 皆さんから出ていた場所については私も賛成かなと思う。
- 西側という話もあったが、市民目線で言うと、⑨近くをよく通るが松江城が綺麗に見える。また、⑩について生活道路の狭い道だと思うが、ここも綺麗に見える。市民が見えている日常の景色の中で綺麗に見える場所も候補として良いのかなと思う。

⇒（委員長）その考えで行くと、交融橋なども入ってきて収拾が付かなくなりそう。そこを選ぶ理由が若干希薄になる気がする。

福田委員

○⑫については、おっしゃるとおり貴重な景観で推薦すべきと思うが、官公庁の多いところで、わざわざ規制をする必要があるのか。官公庁で景観を阻害する建物が建つ可能性があるのか。

⇒（委員長）例えば大きな博物館がぼんと建つ可能性は否定できない。松江城を隠さなくとも、横に大きな建物が建つとまた印象が変わる。松江市として、ここは守っていきたいということを表明しておくことは悪いことではないと思う。

古津委員

○床几山の謂れは子どもの頃から聞いていたし、資料の写真を見ると整備もされており、ひとつのビューポイントとして残ればと個人的には思っている。

⇒（委員長）地元の方は床几山の謂れを知っている方も多い。まさに松江城の築城に関わる起点であるから、そういう場所は積極的に守っていく姿勢はあってもいいかなと思う。

西村アドバイザー

○みんなが共通してイメージできる場所ということが非常に重要。よく見えるけれども、知っている人だけ知っている場所というのは、ルールの趣旨からすると合わない。

○事務局に確認しないといけないが、もしその眺望を守るとすると、今ある高さの規制・容積の規制で特定の建物だけ厳しく規制がかかってしまうということになりかねない部分があるので、それは大丈夫なのかということを確認する必要がある。

○他市の事例を見るときに、眺望規制だけでなく高さの規制がどれぐらい面的にかかっているかという点を見て、その中で眺望点がどうなっているかという、セットで見ていく必要がある。

○例えば国宝4城で言うと、松本市は視点場が3つと一番少なく、姫路市が10と一番多い。それだけ見ると姫路の方が頑張っているというように見えるが、松本市はお城の近くにすごく厳しい高さ規制がかかっている。そのため、あまり眺望点を言わなくても高さの方で守られているということがある。

○今の議論だと、視点場を議論して後で高さ規制の議論をしていくようになっているが、セットで考えないといけない部分があるのではないか。

○姫路市は高度地区が緩めに（30～50m）かかっているが、商業地域なので容積

率が高いこともありあまり（規制を）かけられないといったこともある。松本市の場合はお城の目の前の建物が比較的低い建物が多かったため規制がかけやすかった、ということもあるので、それぞれの都市の条件をもう少し細かく見て、「この町はこういう戦略で全体を考えている」という情報があった方が、松江を考えるときに考えやすい。

小草委員

- 色々な視点場から見える松江城の見え方がバラバラなので、統一した基準を設けるべきなのか、視点場ごとに今見えている高さを基準にしていくのかも考えないといけない。
- 全て統一した基準にする場合は、一番緩めの基準にしておかないと難しい

⇒（委員長）他都市の場合は大体一律の基準のように思う。視点場によって今見えているものを基準とすると、基準として難しい部分もあって、「どうしてここはそこまで見えてないといけないのか」といった議論にもなりかねないかなとも思う。

古津委員

- 松江城がどこまで見えるかという点については、一番上だけだとお城と認識しづらい。多重構造の建物であることがわかるようにという点で言えば、欲を言えば破風が見える三重軒あたりまで見えるのが良いと思うが、せめて四重軒のところまで見えていると、お城だなということがわかるのではないか。

以下、専門委員全員での合意事項

【議論まとめ】

1. 視点場の候補地の範囲と選定基準

⇒城下町の築城にゆかりのある社寺および河川、お堀の物語性

2. 視点場候補地

⇒6か所(②、⑬、⑳、㉔、㉗、床几山) + 5か所(⑤、⑪、⑫、⑱、㉓)

都市計画等との整合性も見ながら検討

3. 松江城がどこまで見えるべきか

⇒四重軒を目安に、高さ規制とも合わせて検討する

以上のまとめを持って、次回現地視察を行う

⑥閉会

署名

署名
